

公立豊岡病院組合立豊岡病院
日高医療センター
公的医療機関等2025プラン

平成29年12月 策定

【2. 今後の方針】 ※ 1. ①～④を踏まえた、具体的な方針について記載

① 地域において今後担うべき役割

日高地区の地域医療を担うとともに、人工透析及び眼科医療を継続して実施する。また地域包括ケアシステムの医療拠点として、地域の診療所や介護事業者と連携し、訪問看護、訪問リハビリテーション等の各種訪問サービスを提供する。また厳しい医師配置状況を踏まえ、医師確保に努める。

なお、平成 29 年度に策定予定の「日高医療センター整備基本計画」に基づき建替整備を進めることとしており、この整備期間中における収支悪化を極力抑える必要がある。

② 今後持つべき病床機能

既存の療養棟と本館 B を活用して入院医療を継続する。ただし、医師負担の軽減等から病床規模は 30 床程度（1 病棟体制）とする。

③ その他見直すべき点

平成 27 年 12 月に法令に基づいて実施した耐震診断において、一部の建物が「大規模地震に対して倒壊または崩壊の危険性がある」との評価を受けた。利用者の安全確保のために早急な対応が必要であったが、診療を続けながらの耐震補強が困難なこと、国の医療制度や人口動態・医療ニーズの変化などへの対応が必要なことから、外部有識者等から成る「日高医療センターのあり方検討委員会」などでの検討を経て、平成 29 年 8 月にこれからの担うべき医療機能と施設整備計画等をまとめた「日高医療センター整備基本計画」を策定したところである。今後、本計画に基づき医療機能の見直しや施設整備を進める。

【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 4 機能ごとの病床のあり方について
 <今後の方針>

	現在 (平成28年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期		→	
急性期	63床		30床程度
回復期	36床		-
慢性期			
(合計)	99床		30床程度

<具体的な方針及び整備計画>

- ・ 療養病棟の閉鎖
- ・ 日高医療センターの整備基本計画に基づき、診療を継続しながら整備するため、敷地内で機能移転先を確保したうえで、非耐震建物を順次解体撤去し、その跡地に新しい建物を整備する。

<年次スケジュール>

	取組内容	到達目標	(参考) 関連施策等
2017年度	○日高医療センター整備基本計画の策定 ①療養棟増築、耐震改修等 ②本館A解体・新本館整備等 (整備は2021年度まで継続) ○①の設計業者の選定・発注	○2017年度中に基本計画策定	集中的な検討を促進 2年間程度で
2018年度	○上記①の設計、施工業者決定・発注 ○上記②の設計業者の選定・発注	○①の工事着手 ○②の設計着手	
2019～2020年度	○②の施工業者決定・発注	○2019年度に①の工事完成・引越し、②の工事着手	第7期 介護保険 事業計画
2021～2023年度		○2021年度に②の工事完成・新本館稼働	第8期 介護保険 事業計画

第7次医療計画

② 診療科の見直しについて

検討の上、見直さない場合には、記載は不要とする。

<今後の方針>

	現在 (本プラン策定時点)		将来 (2025年度)
維持		→	
新設		→	
廃止	療養病棟	→	
変更・統合		→	

③ その他の数値目標について

--

* 地域医療介護総合確保基金を活用する可能性がある場合には、記載を必須とする。

【4. その他】

(自由記載)

--